



福岡医発第1058号(地)

平成22年 8月12日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

平成22年度福岡県在宅医療推進研修会の開催について(ご案内)

標記研修会を福岡県が別添のとおり開催し、第13回全理事会にて協議の結果、本会も共催することといたしました。

つきましては、本研修会の開催について会員各位にご周知いただき、出席者を貴会においてお取りまとめの上、平成22年8月25日(水)までに本会地域医療課宛てに e-mail (fpma-chiiki@fukuoka.med.or.jp) でお送り下さいますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 榎藤秀之

会長 蒲池 壽

上記研修会出席ご希望の方は、8月24日(火)までに当医師会事務局へお申し込みください。TEL72-5534

平成 22 年度 福岡県在宅医療推進研修会

高齢社会の進展や住民の医療ニーズの多様化に伴い、多くの人は住み慣れた在宅で療養を希望していますが、同時に急変時の不安や家族の負担を考えるとそれが実現できないと考えている人も多いという調査結果が報告されています。

福岡県では「誰もが望む場所で療養できる在宅医療体制の整備」を目指し、在宅医療推進事業を実施し、平成 22 年度からは、全県保健福祉（環境）事務所に“地域在宅医療支援センター”を設置し、地域ケアシステムづくりに取り組んでいます。在宅医療をすすめるうえでは、在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションの機能強化や関係機関の連携が重要です。

今回は、フィールドでの実証研究を通して、超高齢社会の医療とシステムのあるべき姿を追及する講師を招き、これからの在宅医療の戦略について考える機会とします。

1. 内 容

月 日	平成 22 年 9 月 2 日（木曜日）19：00～20：30
場 所	福岡県医師会館 大ホール（5 階）
対象者	医師（病院・在宅医療用支援診療所等）
内 容	「“在宅医療”の課題と展望 ～補完しあう医療～」
講 師	東京大学高齢社会総合研究機構 教授 辻 哲夫 氏

《講師のご紹介》

東京大学法学部をご卒業後、厚生省に入省。老人福祉課長、大臣官房審議官（医療保険、健康政策担当）、保険局長、厚生労働事務次官等を経て、2009 年より、現任。

著書：『日本の医療制度改革がめざすもの』（時事通信社）

2. 主 催 福岡県 共 催 福岡県医師会